

2013 年度（対象年度：2012） 自己点検・評価シート【大学全体の視点】

基準 4	教育内容・方法・成果
41	教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

I. 自己点検・評価

1. 点検・評価項目等に基づく状況確認 《評定形式》

自己評価欄に「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:あまり実行していない」「D:実行していない」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目	点検項目	自己評価	
			個別	総合
411	教育理念・目的に基づき学位授与の方針を明示していますか。	①教育理念・目的に対し、学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針は整合していますか。	A	A
412	教育理念・目的に基づき教育課程編成・実施の方針を明示していますか。		A	A
413	学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針は構成員（教職員及び学生等）に周知され、社会に公表されていますか。	②明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。	A	B
		③学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針は構成員（教職員および学生）に対し、周知し十分理解されていますか。【※どのように】	B	
		④社会に対し、公表していますか。【※どのように】	A	
414	学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針の適切性について定期的に検証を行っていますか。	⑤学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針は検証しましたか。【※どのように】	B	B

2. 現状説明 《記述形式》

対象年度における取り組みを、点検・評価項目の観点から、改善状況を含め総括してわかりやすく説明してください。 点検項目欄【※どのように】と記載のある項目は、取り組み内容を具体的に、記述してください。
①各学部の「学位授与の方針」は、第5次長期計画の「教育にかかる基本方針」に基づき「教育理念・目的」を明かにし、その上で定められた方針である。「教育課程編成・実施の方針」は、「学位授与の方針」の学生に求められる能力の6つの観点別領域（「知識・理解」「興味・関心」「技能・表現」「思考・判断」「態度」「建学の精神」）にそって、教育課程を編成しており、整合性を図っている。 ②各学部・研究科に対して「学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」を修正した場合は、教務会議・大学院政策推進委員会（現 大学院運営委員会）に報告するように依頼し、明示媒体に齟齬が発覚した場合も、各学部へ報告を求めて是正を図った結果、現在、齟齬は見受けられない。 ③学部及び研究科が定める「教育理念・目的」は、学則、履修要項、学生手帳、出講手帳に明記しており、これに「学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」を加えたものは、履修要項、大学ホームページ及び履修説明会により学生に周知がなされ、教員に対しては教授会で確認することで周知を行っている。ただし、学部で実施されている『「学位授与の方針」に関する達成度調査』の結果を見ると、知らないという学生が多く、改善が必要である。 ④学部及び研究科が定める「教育理念・目的」は、学則に定めており、これに「学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」を加えたものは、履修要項、大学ホームページにより、社会に公表している。 ⑤方針の検証については、毎年度、各学部教授会や学舎教養教育科目会議で確認することとなっているが、「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」が策定されてから一定期間が過ぎていることから、学士課程教育全

体での整合性をあらためて検証する必要がある。
【改善すべき点の確認】 前回の点検・評価で、自ら「改善すべき点」と掲げた事項や、評価結果で「改善すべき点（【改善勧告】【努力課題】【留意点】）」とされた事項があれば、この欄に箇条書きで記載してください。
<411> ・第5次長期計画グランドデザインに掲げた本学の「教育にかかる基本方針」が、本学の教育理念・目的そのものであるか、確認していただきたい。【留意点】 ・一連の建学の精神にかかる議論の中でも、建学の精神の具現化のための本学の教育理念・目的に関わる見解が示されると思うので注視していただきたい。【留意点】 ・「学生に保証する基本的な資質」に、求められる能力として、本学では6つの観点を示していることの理由を、学生に明示（説明）し、周知する方策を検討する必要がある。【努力課題】 <412> ・6つの観点に基づく「学位授与の方針」の学生に保証する基本的な資質と「教育課程編成・実施の方針」の関係が、カリキュラムや個々の授業（シラバスを含む）との関係において、どのような構造になっているか学生に明示（説明）し、周知する方策を検討する必要がある。【努力課題】 <413> ・理念・目的と方針の関連を学生に明示し、周知する必要がある。【努力課題】 ・教職員への周知方策を提示していただきたい。【留意点】 ・大学案内誌などの入試媒体において、教育理念・目的やDP・CPをどのように明示するのが相応しいのか（DP・CPは、必ずしもそのまま載せればよいというものではないと思われる）検討する必要がある。【努力課題】 <414> ・方針の適切性について、必ずしも定期的に検証ができていない。 ・「教育理念・目的」「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」の適切性の検証は一連のものである。個別の検証は意味をなさないため、『学位授与の方針』に関する達成度調査を通じて、「教育理念・目的」と「教育課程編成・実施の方針」の検証も含まれていることを周知していただきたい。【留意点】

3. 効果が上がっている点とその伸長方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、効果が上がっている事項（特色ある取り組みや成果創出など）とその伸長方策を記述してください。
特になし

4. 改善すべき点とその改善方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、改善すべき事項とその改善方策を記述してください。
・『学位授与の方針』に関する達成度調査から、学生への周知に関する問題が明らかになっている。教務会議で議論し、現状の問題を明確にした上で履修説明会のあり方やシラバスの工夫などの改善を講じる。 ・学位の質保証の観点から、「3つの方針」に関わって、これまで各学部が取り組んできた自己点検・評価に基づき、「教育理念・目的」「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」の整合性や適切性について改めて確認し、教務会議等を通じて全学的に改善を行う。

5. 根拠資料 《リスト形式》

項目 No.	根拠資料の名称
411、412、413	龍谷大学学則第2条の2
411、412、413	龍谷大学大学院学則第3条の2
411、412、413	龍谷大学短期大学部学則第4条
411、412、413、414	履修要項
413	2012年度第14回教務会議議事録
413	学生手帳（2013年度）P.8～P.10

413	出講手帳（2013 年度）P.3～P.4
413	大学 HP（ http://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy.html ）
414	2012 年度 第 19 回教務会議 議事録

II. 評価結果

総評	
教育理念・目的に対し、学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針の明示、周知、公表は、現状では適切な方策がとられていると評価できる。ただし、その方策が有効に機能しているとはいえない状況にある。 『学位授与の方針』に関する達成度調査を継続して推進するとともに、前年度の努力課題として指摘した、6つの観点に基づく「学位授与の方針」の学生に保証する基本的な資質と「教育課程編成・実施の方針」の関係が、カリキュラムや個々の授業（シラバスを含む）との関係において、どのような構造になっているか、学生に明示（説明）し、周知する方策の検討を早急に進めていただきたい。 また、教養教育センター設置にともなう教養教育の目的、DP・CPの変更は、策定時の管理用マツに立ち返って、遺漏なきよう学部周知していただきたい。 各方針の検証については、各学部や学舎教養教育科目会議等で個別に行うことに加え、全学的見地により整合性や適切性を確認し、改善すべき点があれば実行して頂きたい。	
伸長すべき点（長所） 《箇条書き》	
・「教育課程編成・実施の方針」と「学位授与の方針」の整合性について、引き続き検証されたい。	
改善すべき点 《箇条書き》 ＊各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載	
・教養教育センター設置にともなう教養教育の目的、DP・CPの変更を機に、6つの観点に基づく「学位授与の方針」の学生に保証する基本的な資質と「教育課程編成・実施の方針」の関係が、カリキュラムや個々の授業（シラバスを含む）との関係において、どのような構造になっているか、学生に明示（説明）し、周知する方策の検討を早急に進めていただきたい。【努力課題】 ・方針の検証については、各学部や学舎教養教育科目会議等で個別に行うことに加え、全学的見地により整合性や適切性を確認し、改善すべき点があれば実行して頂きたい。【留意点】	
※【改善勧告】【努力課題】は、改善計画書の提出が必要	